

牛伏の流れ

松本市立明善中学校

文責:伊藤 彬

新たな気持ちで始まった2学期

8月26日(水)に2学期の始業式を行い、2学期の学校生活がスタートしました。まだまだ厳しい暑さが続く中、生徒たちはそれぞれに充実した夏休みを過ごし、元気な姿で学校に登校してきました。久しぶりに友達と顔を合わせ、校舎に生徒たちの声が戻ってきたことで、学校に日常生活が戻ってきました。

暑さ対策のため、始業式はTV放送で行いました。始業式では、各学年の代表生徒が2学期に向けた作文を発表しました。3人の生徒はそれぞれ、勉強や進路、部活動、学校生活などについて、自分自身の目標やこれから頑張りたいことを考え、その思いを全校生徒に堂々と伝えました。

2学期は、日々の学習に加え、文化祭や生徒会活動の引継ぎ、3年生にとっては進路選択に向けた大切な学期でもあります。一人一人が「2学期に何を頑張りたいのか」「どんな自分になりたいのか」を考え、新たな目標をもって学校生活をスタートさせることができたことは、とても頼もしく感じます。目標を立てるだけでなく、その実現に向けて日々の生活の中で一歩ずつ努力を積み重ねていってほしいと思います。



全校縦割りの活動の様子

長い2学期には、一人一人が自分の力を伸ばす機会や、仲間と協力して一つのものをつくり上げる機会がたくさんあります。それぞれの目標に向かって努力する姿が、やがて学級や学年、そして明善中学校全体の力につながっていきます。生徒一人一人にとって、実り多い2学期となることを願っています。

「学校長の言葉」より(一部を抜粋)

さあ、今日から学校の中で一番長い82日間の2学期が始まります。2学期は、学校で一番『学び』が深まる時です。しかし、登校日数が長いから深まるわけではありません。毎日ただ過ごしていても『学ぶ目的』を達成することはできないと思います。『学び』を深めるために、毎日の授業・学習はもちろん、たくさんの行事や生徒会活動などで、自分のやりたいこと、やってみようと思うことに、失敗を恐れずにどんどん「挑戦・探究」していきましょう。

平和について考える—広島研修報告から—

始業式に先立ち、夏休みに実施された広島平和祈念学習(以下広島研修)の参加者による研修報告会を行いました。広島研修に参加した生徒は、以下のように発表をしめくくり、全校生徒に平和の大切さを伝えてくれました。



戦争や原爆は、自分たちにとっても決して遠い過去の出来事ではないと感じました。今回の広島訪問を通して、戦争や原爆の恐ろしさだけでなく、平和や幸せの大切さについて深く考えることができました。今の平和な生活を当たり前だとは思わずに、今回学んだことを忘れずに周りの人達にも伝えていきたいです。そして、「平和とは誰かから与えられるものではなく、世界中の人々で創りあげていくもの」という言葉を胸に、世界中の人々が安心して暮らせる平和な未来をみんなで創っていききたいです。

地域とともに過ごした夏休み

夏休みには、それぞれの地域で行われた行事に積極的に参加する明善中生の姿を、今年もたくさん見ることができました。会場では、地域の方と一緒に準備をしたり、出店のお手伝いをしたりする中学生の姿が見られました。地域の方に声をかけてもらいながら、笑顔で活動する姿からは、地域の一員として役割を果たそうとする頼もしさを感じました。また、小さな子どもたちに優しく接したりする姿から、地域の方との温かなつながりを感じることができました。

さらに、地域の公民館では、友達と一緒に学習したり、地域の方と交流したりする中学生の姿もありました。今年度も、明善学区の公民館をはじめ、地域の皆様には、子どもたちが安心して過ごしたり、学んだりすることのできる場をつくっていただいています。こうした環境は決してあたりまえのものではなく、地域の皆様の子どもたちへの温かな思いと、信頼や期待があってこそ生まれているものだと思います。

家庭だけでなく、地域全体で子どもたちを見守り、支えてくださるすばらしい町。そして、その地域の一員として、地域の方とともに活動し、地域を支える明善中生。夏休みを通して、地域と子どもたちとのつながりの深さを改めて感じることができました。



緑明祭に向けて

9月に入り、緑明祭に向けた準備が本格化しています。今年度は、1日目に生徒会企画や縦割りグループでの活動、午後に運動会が予定されています。学年を越えて協力したり交流したりする機会が増え、一人一人が緑明祭を創り上げていこうとする雰囲気も、日に日に高まっています。

そのような中、9月3日の生徒会の時間には、環境委員会の生徒が松本ろう学校を訪問しました。今回は、松本ろう学校の生徒の皆さんと一緒に、プランターへ花を植える活動を行いました。最初は少し緊張した様子も見られましたが、花を植える作業と一緒に進める中で、自然と笑顔が生まれ、少しずつ距離を縮めていくことができました。花を植えるという一つの活動を通して、学校の枠を越えて交流を深めることができた、貴重な時間となりました。



松本ろう学校の生徒たちとの集合写真

緑明祭の2日目には音楽会も予定されています。1学期から練習を重ねてきたクラス合唱を、どのように仕上げて披露してくれるのか、今から楽しみです。毎日のようにクラスで歌声を響かせながら、少しずつ団結力を高めています。仲間と協力すること、学年を越えてつながること、地域や他校の仲間と交流すること。さまざまな「つながり」を大切にしながら、一人一人の力で創り上げる今年の緑明祭に、ぜひご期待ください。